

第4回 FD/SD 研修

「今、求められる学生・地域参画型教育・学修」

～アクティブ・ラーニングの組織的取組と COC+人材育成カリキュラムを通して～

1. 概要

講師は山口大学 大学教育機構大学教育センター准教授・IR 室長林透氏。

「今、求められる学生・地域参画型教育・学修 アクティブ・ラーニングの組織的取組と COC+人材育成カリキュラムを通して」としてご講演を頂いた。

今回はワークを取り入れた内容にしたいということで各グループに分かれ、地域に向いて行う授業とその評価方法を考え発表するワークを行った。

2. 開催日時： 9月20日（14時50分～17時30分）

3. 場所： 大分大学教養教育棟13号教室

4. 研修内容： 前半講演 後半ワークショップ

14:50 越智理事挨拶 ～講師紹介

14:55 林氏によるご講演

① アクティブ・ラーニングの動向について

② 山口大学の取り組み

③ アクティブ・ラーニングポイント制度の紹介

④ 評価のしかたについて

16:00 ワーク開始

17:00 各グループの内容振り返り

17:30 終了

5. 参加者数：合計51名

大分大学教員33名、職員8名 他大学教員10名

6. アンケート内容

(問1) 研修の①AL②AL可視化制度③人材育成カリキュラム④共育ワークショップ情報を、現在のご自分の業務（講義、IS、産学連携、それらの支援など）に応用したいですか。

A 今回の内容を一度ぜひ応用してみたい（数字に○を付けてください）

① AL②AL可視化制度③人材育成カリキュラム④共育ワークショップ

B 現在の自分の取組と融合、相乗させてより改善してみたい

C 現在の自分の授業・職務の改善に応用することはなかった

(問2) 一番関心がある内容の数字に○を付けてください

① AL ②AL 可視化制度③人材育成カリキュラム④共育ワークショップ

<振り返り>

*COC+のFD/SD研修として他大学の教員方の出席率が高いことが評価できる

*グループわけを大分大学の学部、他大学の教員、職員とばらばらにミックスして行ったのでそれぞれの大学の情報交換の場となった

*グループ内でも「アクティブ・ラーニングを得意とする教員」「これから取り入れたいと思っている教員」「興味はあるが取り入れ方がわからない教員」など経験値の差があったので、アクティブ・ラーニングに関して段階的な話ができ取り入れ方法等の具体的話ができ

*教員が各個人で行うことが多い「学生の評価」について、ワークを行うことで他の教員がどのように行っているのか事例紹介の場となった

*各大学の先生方が共通で一つの授業を作るという場が設けられたので、来年度 COC+の新規科目となり得る授業の案が作成された

FD/S D研修会

「今、求められる

学生・地域参画型教育・学修

～アクティブ・ラーニングの組織的取組と

COC+人材育成カリキュラム設計を通して～」

教育・学修の基本はシラバスとカリキュラムです。
他大学の事例をもとに、授業シラバスの見直し
や学生の学修支援に取り組みませんか？

- 📌 **アクティブ・ラーニングに関する組織的取組！**
(各授業のシラバスに、アクティブ・ラーニング度を可視化した
「ALポイント認定制度」を2015年度から全学的にスタート)
- 📌 **教員・職員・学生による対話型ワークショップの展開！**
(共育ワークショップ、ALをテーマとしたFD・SDワークショップ)
- 📌 **学修成果可視化に関する組織的取組！**
(汎用的能力に関する目標設定と可視化、アセスメントポリシー)
- 📌 **COC+人材育成カリキュラムの挑戦！**
(やまぐち未来創生人材育成プログラム (YFL) を2016年度
からスタート)

【共催】COC+推進機構・高等教育開発センター

講師：林 透 氏

山口大学
大学教育機構
大学教育センター
准教授・IR室長



文部科学省・大学教育再生加速プログラム (AP) でのアクティブ・ラーニングや学修成果可視化の組織的取組、文部科学省・地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+) での人材育成カリキュラム設計に従事するほか、業務運営IRを通して大学経営・教育改革を担当。

日時：9月20日(火)

14:50～16:20 講演
16:30～17:30 意見交換会

場所：大分大学
旦野原キャンパス
教養教育棟35号

対象：教員・職員

お申し込み先

大分大学 研究・社会連携課
COC+推進係 554-7913
cocsuishin@oita-u.ac.jp

